

令和5年度 岐阜県立飛騨高山高等学校全日制 学校評価アンケート結果及び分析
生徒（7月実施）

対象数	回答数	回答率
796	633	79.5%

次の項目について、A～Eの該当する欄に○をつけてください。

- A よくあてはまる
- B ややあてはまる
- C あまりあてはまらない
- D まったくあてはまらない
- E わからない

ABを肯定的評価、CDを否定的評価とする。番号は本年度の質問項目の番号である。

【肯定的評価ABの上位項目】

番号	項目	本年度	昨年度
8	専門的知識が豊富であり、授業内容について信頼できる先生が多い。	96%	97%
2	本校に入学できて良かったと思っている。	95%	96%
30	本校では、携帯電話やインターネット使用上の注意やマナーの指導が行われている。	94%	96%
33	隣同士またはグループでの意見交流や、仲間の意見を聞いて考え合う授業をとおして、自主的・主体的に学ぶことができている。	94%	97%
<p>〈分析〉本年度、肯定的評価が80%を超えた項目は33項目中32項目で97%であった。（昨年度は36項目中34項目で94%だった。）90%以上の項目は12個だった。昨年度同様、肯定的評価が高く、生徒は本校の教育活動に満足し、信頼していることがみてとれる。</p>			

【否定的評価CDの上位項目】

番号	項目	本年度	昨年度
29	本校では、キャンパスや学科を越えた交流（学習・行事・部活動）が活発に行われている。	14%	16%
5	家庭で学校に関する話をしている。	10%	11%
15	総合的な探究の時間（普通科）又は課題研究（専門科）の内容は、自分にとって有意義である。	10%	7%
1	本校の教育方針や指導目標について、分かりやすく説明を受けている。	9%	7%
<p>〈分析〉29番は昨年度より少し減っただけだが、実際には生徒会活動を中心に交流が活発に行われている。15, 1番についてもその意義をわかりやすく丁寧に説明し続ける必要がある。</p>			

【否定的評価上位項目】には入らなかったが肯定的評価ABが80%未満の項目

番号	項目	本年度	昨年度
29	本校では、キャンパスや学科を越えた交流（学習・行事・部活動）が活発に行われている。	79%	79%
<p>〈分析〉上の分析にも記載したが、他の生徒にも交流の様子をもっと知ってもらう方策を考えたらどうか。</p>			